

## 揭示

### [JENESYS プログラム 2008]

日本学術振興会：若手研究者交流支援事業 ～東アジア首脳会議参加国からの招へい～

#### 東京農工大学シンポジウム

—「東南アジアにおけるバイオマスの利活用に関する先端的技術開発」—

日時：平成21年3月5日（木）

シンポジウム：13:30～18:00、懇親会：18:00-20:00

場所：東京農工大学 府中本部 50周年記念ホール

#### プログラム

- 13:30 開会（進行：石川芳治教授）
- 13:35 開会挨拶：（小野国際担当副学長）
- 13:45 来賓挨拶：若手研究者交流支援事業の目的と意義、期待すること等  
（JSPS：人物交流課 加藤課長）
- 13:55 基調講演：「バイオマス利用に関する技術開発の最近の動向と今後の方向性」  
（持続する人類生存圏のための木質資源の効率的、循環的な利用：京都大学生存圏研究所・今村祐嗣 教授）  
（新規産業「バイオリファイナリー」の展望—バイオマスからのエネルギー・化学品製造：地球環境産業研究機構・湯川英明 理事）
- 14:35 本交流事業の実施内容の報告・本シンポジウムの進め方の説明  
（本事業コーディネーター：国眼孝雄教授）
- 14:45-15:00 コーヒーブレイク
- 15:00～17:45 セッションごとに発表・討議  
～今回の交流事業の成果及び成果の利用、今後の研究交流の方向性、バイオマス利用の将来の夢など
- 15:00 第1セッション 「バイオマスと生産」（招へい若手研究者4名発表）
- ・湿潤熱帯地域における農林複合技術の開発
  - ・熱帯産樹木の成長とバイオマス特性
  - ・食料の生産から農業廃棄物の再生まで自然エネルギー利用
- 16:00 第2セッション 「バイオマス利用（非木質系の利用）」（若手研究者3名発表）
- ・オンサイトセルプラント方式によるバイオマスからプラスチック生産
  - ・セルロース系バイオエタノールの製造技術の開発
- 16:45-16:55 コーヒーブレイク
- 16:55 第3セッション 「バイオマス利用（木質系の利用）」（若手研究者3名発表）
- ・バイオマスの炭化過程に関する高感度熱分析の開発
  - ・木材を用いた治山治水施設
- 17:45 シンポジウムの総括（本事業コーディネーター：国眼孝雄教授）  
（「東南アジアにおけるバイオマスの利活用に関する先端的技術開発に対する提言」）
- 17:55 閉会（小野国際担当副学長）
- 18:00 懇親会